

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を実現するために ～リーディングDXスクールなどの取り組み例～

国が目指している学び

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

- 「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学び」に還元するなど、**「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実していくことが大切**
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る上でも、**カリキュラム・マネジメントの充実が重要**

「個別最適な学び」とは

- 教師が支援の必要な子供により重点的な指導を行うことなどで効果的な指導を実現することや、子供一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことなどの**「指導の個別化」が必要**
- 子供の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、探究において課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う等、教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子供自身が学習が最適となるよう調整する**「学習の個性化」も必要**

「協働的な学び」とは

- 探究的な学習や体験活動などを通じ、子供同士で、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、**必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」を充実することも重要**

引用：[「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実：文部科学省](#)

リーディングDXスクールとは

GIGA端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を徹底的に活用し、情報活用能力の育成を図りつつ、**「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実や校務DXを推進し、全国に好事例を展開する学校**

[リーディングDXスクール](#)より

	1	2	3	4	5
学習課題 学習内容	先生が学習課題や 学習内容を決める。	先生が学習課題や学 習内容をほぼ決める。	子供に学習課題や学 習内容を選択肢から 選ばせる。	子供が学習課題や学 習内容をほぼ自分で 決める。	子供が学習課題や学 習内容を自分で決め る。
学習形態	先生が学習形態 （個人で・ペアで・グ ループで・先生と）を 決める。	先生が学習形態 （個人で・ペアで・グ ループで・先生と）を ほぼ決める。	子供に学習形態 （個人で・ペアで・グ ループで・先生と）を 選択肢から選ばせる	子供が学習形態 （個人で・ペアで・グ ループで・先生と）を ほぼ自分で決める。	子供が学習形態 （個人で・ペアで・グ ループで・先生と）自 分で決める。
学習方法	先生が学習方法 （何を使うのか）を 決める。	先生が学習方法 （何を使うのか）を ほぼ決める。	子供に学習方法 （何を使うのか）を 選択肢から選ばせる。	子供が学習方法 （何を使うのか）を ほぼ自分で決める。	子供が学習方法 （何を使うのか）を 自分で決める。

※最初から子供が自分で決められるわけではないため、**先生の指導が必要**。学齢や子供の実態に合わせて、徐々に「5」を増やしていき、**自律的な学習者を育てていく**必要がある。

※オール「5」が良いというわけではない。**単元・年間を見通して授業デザインする必要がある**。

※個別最適な学びは自習ではない。個別最適な学びで子供が孤立しないよう、**学習内容を他者参照**できるようにしたり、課題設定やふりかえりの場面で**他者と協働**したりすることも必要。

※**個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させていくことで、自律的な学習者を育成**する。

参考：[GIGA参観日2024 | 指定校公開授業等・公開学習会（事務局主催） 予定 | リーディングDXスクール 令和6年度リーディングDXスクール事業 公開学習会特別講座「これからのGIGA!!! 教科の学びをどう深める!?!」](#)